

JKJO関連大会開催のガイドライン

2020/6/15作成

会場	<p>【出場者が100名程度（1コート～2コート）の場合】</p> <ol style="list-style-type: none">①換気（窓の開閉）ができる②冷暖房が使える③更衣室がある④会場内で昼食は不可とする（役員やスタッフの昼食はおにぎり・サンドイッチなどの軽食とする）⑤アルコール除菌液や手指消毒剤などを設置し、感染予防を徹底する⑥各コートにも手指消毒剤を設置する <p>【出場者が300名程度（3コート～4コート）の場合】</p> <p>【出場者が500名以上（5コート以上）の場合】</p> <p>上記①～⑥に加え大型施設のメインアリーナであること（貸し切りが望ましい）</p>
入場者の制限	<ol style="list-style-type: none">①必要最低限の入場者を心掛ける（選手の付き添いは保護者1名とする、もしくは無観客とする）②関係者以外の来場は認めない③行政が実施している追跡システムへの登録もしくは来場者名簿を使用する④選手・関係者はマスクを着用する⑤入場者全員の検温を実施し、37.5度以上の発熱者は入場禁止とする⑥危険度の高い65歳以上の高齢者は入場不可（審判・スタッフ含む）とする
簡素化と分散	<ol style="list-style-type: none">①原則的に開会式・閉会式は行わない②事前にトーナメントを公表し、試合開始時間を通知する（分散集合を心掛ける）③三密を避けるためアップをする場所は別会場が望ましい④試合の経過やトーナメントが表示できるアプリなどを活用する⑤終了後は換気・除菌を行い感染予防を徹底する⑥保護者の観戦は自分の子供のみとする <p>②入賞者の賞状は、試合終了後、各道場へ送付する</p>
選手受付	<ol style="list-style-type: none">①手指消毒剤を設置する②受付場は飛沫感染防止のためシールドを設置する③原則的に道場代表者が受付を行い、前者との間隔を1.5メートル以上開ける④体調不良で以下のいずれかの症状がある場合、出場不可とし、帰宅していただく<ul style="list-style-type: none">・ 37.5度以上の発熱・ 息苦しさ（呼吸困難）強い息さ（倦怠感）高熱などの強い症状のいずれかの場合・ 咳、頭痛、下痢、嘔吐症状、味覚障害などのある場合・ 家族の方で新型コロナウイルスに感染された方がいる場合・ 新型コロナウイルス濃厚接触者として自宅待機となった方が近くにいる場合・ 家族の方で発熱を伴う体調不良の方がいる場合⑤選手の軽量はマスクを着用し、出場コートごとに行う
防具	<ol style="list-style-type: none">①選抜クラスで使用するJKJO指定サポーター・ヘッドガードは各自で用意する②ヘッドガードにフェイスシールドを装着することを義務付ける③選手の赤ひもは各自で用意する④試合前後に各自サポーター消毒を行う⑤試合終了後は速やかに退場し、手洗い・手指消毒を励行する
セコンド	<ol style="list-style-type: none">①セコンドはつけないが、選手1名につき1人ビデオ撮影を許可する、その際必ずマスク着用と手指消毒を行う（指導者が記録のために撮影することも可） 撮影する場合は指定された席に座る②アリーナ内には選手やスタッフ以外の不必要な観客を入れない

審判員	<ul style="list-style-type: none"> ①審判員はフェイスシールドと手袋を装着する ②審判交代をこまめに行う（5～10試合での交代が望ましい） ③各コート3審制3チームが望ましい ④選手との接触を避け、選手のダウンなどの処置・確認は医務に委ねる
スタッフ	<ul style="list-style-type: none"> ①体調が思わしくない場合スタッフに入らない ②マスクを着用する（人との接触が多いスタッフは手袋、フェイスシールドも装着する） ③選手に接触しない ④防具・サポーターに触れた場合は必ず手洗いをする ⑤大会終了後は着替えて会場を出る
観戦	<ul style="list-style-type: none"> ①団体代表者のみ本部席にて観戦可能とする ②顧問など議員・後援者は極力招待しない
医務・救護	<ul style="list-style-type: none"> ①原則大会ドクターを依頼する ②柔道整復師などの場合は看護師・救命救急士などを依頼する
その他	<ul style="list-style-type: none"> ①マスク・プラスチック手袋・除菌液などを十分に準備するとともに感染者が出ないよう平常時に増した安全対策をとること ②来場者とのトラブルを避けるため、事前に団体代表者への通知およびホームページへ掲載すること ③保護者は2階観覧席で密にならない様に前後左右1席以上空け必ずマスク着用すること ④主催者側は常に2名以上で見回り指導を心掛ける ⑤施設側とは十分事前に打ち合わせを行い、万が一感染者が出た場合の消毒費用や賠償責任について話し合うこと ⑥大会終了後、感染者が確認された場合は、感染経路や濃厚接触者などの詳細を明確にしておくこと